

内、内藏助等著衣冠持之、行列、

前掃二人内藏屬稱警蹕 次御冠筥 次辛櫃内藏助已下 刻限昇辛櫃立直廬簀子、次攝政著座東面、出

籬中殿上 次公卿著座大中納言北面上西 若逮昏供掌燈、主殿官人立明、次五位藏人懸 二人各

持參御冠筥、並置直廬北面北第一間、長押 次藏人懸 二人昇御唐櫃一合、立北第三間、次藏人二

人又昇一合辛櫃、立第三間、次藏人頭參進開辛櫃封及蓋、置御禮服具於攝政座前、仰蓋 藏人頭隨

取出、五位藏人持參置之、次又開一合封及蓋、置御禮服具於攝政座前、作法 次開御冠筥、仰蓋居

筥上置御冠、次藏人頭讀申目錄、次撰出今度可被用之御禮服、納辛櫃一合、御冠一合 藏人書目

錄同入加辛櫃、次所殘之御禮服等入辛櫃、藏人頭付封、仰本役人令昇出之、立置簀子、御冠筥 次

今度可被用御禮服之辛櫃、令昇出之、納納殿、次攝政起座、入座後、籬中殿 納言動座、參議退出蹲踞、

次公卿退出、次五位藏人相具御冠筥辛櫃、向內藏寮返納之、内藏助已下相從如初、

〔御即位次第抄〕御即位冠服之事

主上

玉冠、冕旒、

天子冠服

玉冠、冕旒、日形 天子童形ノ御時有之、玉冠ハ應神天皇御時ヨリノ冠臺ヲ今ニ傳ヘテ、世々是ヲ

用ヒ玉フト、

〔代始和抄〕御即位事

即位の日は、大極殿の高御座をよそひ飾る、太政官廳にて行はる、時は、高御座をうつさる、也、

南階をさる事十一丈に、銅鳥の幢をたつ、その東に日像の幢、朱雀青龍の旗等をたつ、西には月像

の幢、白虎玄武の旗等をたつ、東廳の西に内辨の幄あり、其内に兀子をたつ、中階の南七丈をさり

即位式